

お宝発掘

須藤邸



五つ玉そろばん

須藤家では遠藤原で商店をやっており、当時実際に使っていました。



分銅はかり

皿の上に量りたいものを乗せ、分銅の位置をずらしてつり合わせ、目盛りを読んで重さを量りました。



練炭製造機

練炭の材料となる炭の粉を詰め、3つのパーツによって圧縮し、練炭を作っていました。



アイロン

中に炭を入れ、鉄の部分が熱くなる事を利用したアイロンです。